

授業の様子

暑中見舞いやかもめ～るについて学びました。その際に「時候のあいさつ」の説明を、二十四節季の内容にふれながら解説していました。

また、手紙と電子メールとの違いを生徒間で話し合い、「手紙は書く時に相手のことを思いながら書ける。」「何度も読み返すことができる。」などの意見が多く発表されていました。

先生の感想

手紙やはがきを使った、生徒たちの国際交流という視点から英語教師との連携で授業に盛り込めたら、生徒たちの「手紙を書く」ということへの関心度も向上するのではないかと思います。



授業の様子

職場体験でお世話になった方へ便せんを使ってお礼状を書く授業でした。

郵便局へ職場体験にいった生徒もいて、事業所のあて名に「御中」と書くことを教えてもらったと話していました。「拝啓」の説明ではアンジェラ・アキの「手紙」を先生が歌うとすぐに反応し楽しく学んでいました。

手紙とメールの違いは「形に残ること」で事業所の方が、また翌年の職場体験の参考にすることを考えて、具体的なエピソードや楽しかったことを書くように説明していました。

先生の感想

生徒から携帯メールでも絵文字を使って感情を表現できるという意見もありましたが、実際に手紙を書かしてみると集中して文章を考えることができているのでよかったです。



授業の様子

8月に臨海学校へ行く予定にしている一年生。現地から手紙を出すことにしているので、それを踏まえての授業でした。

テキストに沿って、手紙の特徴・正しい手紙の書き方・いろいろな種類の手紙の特徴などを学びました。

手紙の長所と短所について議論し、短所は「電子メールに比べて文字を書く事に時間が掛かる。」が大多数でしたが、長所は「気持ちが伝わる。」「もらうと嬉しい。」などが、意見として多くありました。

先生の感想

生徒たちは手紙を書く機会が少なくなっています。そのため、手紙やはがきについてきちんと学べるテキストや指導書があると助かります。

